

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	サイクル基礎実習 I			授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や提案力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。
担当教員	藤堂、河村、丹波、赤崎			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標 自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、提案力を身につける。
開講期間	2020.4.1～2021.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有 = 河村(自転車店オーナー) 丹波(デザイン事務所運営)			
授業の計画展開	サイクル基礎実習 I-1(ロゴ・グラフィック)			
	内容	現存する企業のロゴをリサーチ分析しながら、PCソフトを使ったオリジナルのロゴを作成。また、そのロゴを配置したフレームグラフィックの作成。		
	サイクル基礎実習 I-2(サイクルコミュニケーション)			
	内容	外部企業、工場をまわり、自転車の歴史、自転車の関わりなどを学ぶ。また、今後の可能性を模索し、提案する。		
	サイクル基礎実習 I-3(サイクル基礎知識)			
	内容	自転車の種類、工具、ネジ、ケミカルなど、自転車整備に必要な知識を習得する。JIS規格に関しても習得する。		
サイクル基礎実習 I-4(フィッティング概論)				
内容	ジオメリーの読み方、フィッティングの仕方などを学び、乗車体験などを通じてフレームサイズの選定や提案をする技術を習得する。			
サイクル基礎実習 I-5(素材研究)				
内容	カーボン、アルミ、クロモリ、チタンなど、自転車のフレームやパーツに使われている素材を知り、今後の可能性を模索していく。			
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら提案力を身につけることが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性・提案力 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	スポーツバイクメカニック教本<ロードバイク編>、スポーツバイクメカニック教本<MTB編>			

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	ビジネス講義及び実習		授業のねらい 販売促進ツールの作成、イベントの立案技術を習得することで、競合店との差別化ができる人材を育成する。	
担当教員	藤堂、河村、溝手、鷺本、赤崎			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	64時間	単位数	2単位	到達目標
開講期間	2020.4.1～2021.3			
授業形態	講義及び実習			販売促進ツールの製作技術の習得、イベントの立案・運営を行うことにより、競合店との差別化をするための企画力や提案力を身につける。
備考	実務経験有＝ 河村(自転車店オーナー) 溝手(グラフィックデザイナー)			
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習 I-1(グラフィックエディトリアル)			
	内容 PCソフトを使用し、POP、ショップカード、雑誌広告、カタログ、動画などの販促媒体を作成。			
	ビジネス講義及び実習 I-2(イベントプランニング)			
	内容 走行会、サイクリングガイド、大会、ツアーなどを開催するために必要な知識や情報を学び、実際にプランニングができる技術を習得する。			
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら提案力を身につけることが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性・提案力 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	スポーツバイクメカニック教本<ロードバイク編>、スポーツバイクメカニック教本<MTB編>			

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	メカニック基礎実習 I			授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や技術力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。
担当教員	藤堂、河村、赤崎			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	744時間	単位数	23単位	到達目標 自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、技術力を確実に身につける。
開講期間	2020.4.1～2021.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 河村(自転車店オーナー)			
授業の計画展開	メカニック基礎実習 I-1(ホイール組(シティバイク)) 内容 ホイールを構成する各パーツの種類や役割を理解し、組み立て技術を習得する。			
	メカニック基礎実習 I-2(シティサイクルメカニック1) 内容 日本国内で90%以上のシェアを誇るシティサイクル(変速ギアなし)の分解、組み立て、調整の技術を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-3(シティサイクルメカニック2) 内容 日本国内で90%以上のシェアを誇るシティサイクル(内装ギア、ベルトドライブ仕様)の分解、組み立て、調整の技術を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-4(7分組実習) 内容 実習で使用する各種商品の箱開けを行い、店頭陳列するための7分組を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-5(スポーツバイクメカニック1(ヘッド&チェーン)) 内容 スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所である、ヘッドセットやチェーンの調整技術を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-6(スポーツバイクメカニック2(ブレーキ)) 内容 スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所である、ブレーキの調整技術を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-7(スポーツバイクメカニック3(シフト)) 内容 スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所である、シフトの調整技術を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-8(ホイール組(スポーツバイク)) 内容 スポーツバイクのホイールを構成する各パーツの種類や役割、組み方を理解し、組み立て技術を習得する。			
	メカニック基礎実習 I-9(クロスバイクメカニック) 内容 クロスバイクの分解、組み立て、調整を実習し、講義を通じて周辺知識を学習する。			
	メカニック基礎実習 I-10(ロードバイクメカニック) 内容 ロードバイクの分解、組み立て、調整を実習し、講義を通じて周辺知識を学習する。			
	メカニック基礎実習 I-11(MTBメカニック) 内容 MTBの分解、組み立て、調整を実習し、講義を通じて周辺知識を学習する。			
	履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら技術力を身につけることが重要である		
評価方法	実技および筆記試験、日頃の姿勢、出席状況による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	スポーツバイクメカニック教本<ロードバイク編>、スポーツバイクメカニック教本<MTB編>			

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	学外研修		授業のねらい 自転車関連企業、工場を訪問し、業界についてより深い理解度を追求する。	
担当教員	藤堂、赤崎			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	16時間	単位数	-	到達目標 自転車関連企業、工場を訪問し、そこで知り得た知識や情報を身につける。
開講期間	2020.4.1～2021.3			
授業形態	講義			
備考				
授業の計画展開	学外研修 I -1(企業訪問、見学)			
	内容	自転車関連企業を訪問し、業界について深い理解を得る。		
履修上の注意事項	自転車関連企業、工場を訪問し、新しい提案ができるよう業界についてより深い理解をすることが重要である			
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト				
参考文献				

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	特別セミナー	授業のねらい	
担当教員	藤堂、赤崎	各方面の自転車に関わる職種の方が講義を行い、普段と違った視点から業界への深い理解度を追求する。	
対象学年	1年		
単位区分	必修		
授業時数	4時間		
開講期間	2020.4.1～2021.3		
授業形態	講義		
備考			
授業の計画展開	特別セミナー I-1(外部講師特別セミナー)		
	内容 各方面から自転車に関わるスペシャリストをお招きし、業界の知識や情報を知り得る講義を行う。		
履修上の注意事項	講義を聴講することにより自転車業界の新しい知識や情報を身につける。		
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。□		
テキスト			
参考文献			